

運転員等の技術維持・技術伝承に係る活動について

- ・ 「常陽」では、『長期停止中であっても、シミュレータ等を用いた運転員の訓練、高速実験炉原子炉施設における事故トラブル経験の技術者への教育等を継続し、設計及び工事並びに運転及び保守に係る経験を適切に維持、伝承し、運転に必要な技術的能力を維持、管理する。』としている。
- ・ また、「常陽」では、長期停止中において、ナトリウム冷却系設備を中心に長期間停止する機器類について、機器動作の固渋防止等のハード面及び機器操作習熟等のソフト面の観点から定期的なサーベイランスとして、毎年度、設備・機器の作動確認を行っている。本作動確認を通して、設備・機器の健全性を確認すると共に運転員等が実機を操作、確認する機会になっており、運転員等の技術維持・技術伝承の観点でも有用である。

設備・機器の作動確認の例)

系統設備名	作 動 確 認 項 目
原子炉保護系	ロジック回路の作動確認
1次主冷却系	ポニーモータ引継ぎ確認
1次補助冷却系	1次補助電磁ポンプ自動起動確認 1次補助系サイフォンブレイク止弁の作動確認
1次・2次冷却系	スクラムインターロック作動確認 主・補助送風機の運転確認 空気冷却器ダンパ・ベーン作動確認
格納容器バウンダリ	隔離弁の作動確認